

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|---|--|
| (整理番号) 120 | 提案機関名 JAあつぎ |
| 要望問題名 3月(彼岸)咲き一般切花の導入について | |
| 要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 JAあつぎ「夢未市」における3月(彼岸)時期の切花生産が少なく、仕入れ品での対応が多くなっている。このため、取扱品目の地場産の増加に向け、地域の気象条件等を勘案した作目を試験し、提案いただきたい。 | |
| 解決希望年限 | <input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | <input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | | | |
|---------|--|------|--------------|
| 回答機関名 | 農業技術センター | 担当部署 | 生産技術部果樹花き研究課 |
| 対応区分 | <input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 | | |
| 対応の内容等 | 地産地消の推進は本県農業にとって最重要課題であることから、現在花きについても直売所出荷に適した品目の検索及びそれらの栽培技術の確立について研究を行っています。その中で、冬から春にかけて、無加温もしくは低温で簡易に栽培できる切り花品目の検索についても取組みを進めているところです。 これまでに3月彼岸出荷を目的としたキンセンカの無加温栽培技術についての試験を実施しました。また、冬から春にかけて低温で栽培が可能なランタンキュラスについても栽培試験を実施しています。 今後も引き続き、県内の栽培・生産環境に適した品目について検討します。 | | |
| 解決予定年限 | <input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |